◎調達機関番号　597　◎所在地番号　34

○第 10835 号（No.10835）

1　調達内容

⑴　品目分類番号　22、31

⑵　導入計画物品及び数量

自動注射払出装置　一式

⑶　調達方法　購入等

⑷　導入予定時期　平成21年度第３・四半期

⑸　調達に必要とされる基本的な要求要件

①　オーダリングシステムと連動できること。

②　注射箋や輸液ラベルやバーコード印字が、注射払出装置から印刷できること。

③　印刷は２次元バーコードが印字でき、オーダーで入力されたコメント（投与法やルート）も注射箋や、ラベルに印字できること。

④　アンプルやバイアルだけでなくキッド製剤や、ボトル類などをピッキングできること。

⑤　内服と注射データーの相互作用チェックができること。

⑥　カートは14病棟分の台数が装備されていること。

2　資料及びコメントの提供方法　上記１⑵の物品に関する一般的な参考資料及び同⑸の要求要件等に関するコメント並びに提供可能なライブラリーに関する資料等の提供を招請する。

⑴　資料等の提供期限　平成21年９月１日17時00分（郵送の場合は必着のこと。）

⑵　提出先　〒737―0023　広島県呉市青山町３―１　独立行政法人国立病院機構呉医療センター　企画課長　西平　勝美　電話0823―22―3111　内線6310

3　説明書の交付　本公表に基づき応募する供給者に対して導入説明書を交付する。

⑴　交付期間　平成21年７月17日から平成21年８月31日まで。

⑵　交付場所　上記２⑵に同じ。

4　その他

この導入計画の詳細は導入説明書による。

なお、本公表内容は予定であり、変更することがあり得る。

5　Summary

⑴　Classification of the products to be procured : 22, 31

⑵　Nature and quantity of the products to be purchased : Automatic injection medicine taking out System 1 Set

⑶　Type of the procurement : Purchase

⑷　Basic requirements of the procurement :

①　It is necessary to be able to synchronize with the ordering system.

②　The print of the prescription, the fluid infusion bottle label, and the bar code should be able to be printed from the injection taking out machine.

③　The prescription can print two dimension bar code can be printed. Moreover, the comment (dispensing method and route) input by the order should be able to be printed on the prescription and the fluid Infusion bottle label.

④　The injection medicine taking out machine should be able to take out not only the ampoule and Baial but also the medicine made of the kit and bottles, etc.

⑤　The interaction check of the prescription and the injection prescription should be able to be done.

⑥　The injection medicine transportation wagons must be equipped with the number for 14 wards.

⑸　Time-limit for the submission of the requested material : 5 : 00 P.M. September 1, 2009

⑹　Contact point for the notice : Katsumi Nishihira, Director, Accounting Division, National Hospital Organization Kure Medical Center, 3―1 Aoyama-cho Kure-shi, Hiroshima-ken 737―0023, Japan. TEL 0823―22―3111 ext. 6310

資料提供招請に関する公表

次のとおり物品の導入を予定していますので、当該導入に関して資料等の提供を招請します。

平成 21 年７月 17 日

独立行政法人　国立環境研究所

理事長　大垣眞一郎

◎調達機関番号　557　◎所在地番号　08

○第１号

1　調達内容

⑴　品目分類番号　14

⑵　導入計画物品及び数量

ＧＯＳＡＴ研究用計算設備　１式

⑶　調達方法　購入

⑷　導入目的

本システムは、国立環境研究所において、温室効果ガス観測技術衛星（いぶき、ＧＯＳＡＴ）の観測データから大気中の温室効果ガス濃度及び全球炭素収支分布等を計算するために導入する。

⑸　導入予定時期

平成21年度中

⑹　調達に必要とされる基本的な要求要件

本設備は汎用ＧＰＵ付き並列計算機（以下、主計算機部）、大容量ファイルシステム、ネットワークサービス用計算機等から構成される。

①　主計算機部はＣＰＵと同数の汎用ＧＰＵを備え、かつＣＰＵのSpecfp_rate2006 baseの合計が25600以上、汎用ＧＰＵの倍精度浮動小数点演算の理論値性能合計が27.6Tflops以上であること。また、本研究所が指定するベンチマークテストの結果が所定の用件を満たすこと。

②　主計算機部の総記憶容量は3.84TB以上であること。また、汎用ＧＰＵの総記憶容量は1.28TB以上であること。

③　無料のオープンソースコンパイラでＣ言語とFortranが利用できること、かつ上記の両言語から汎用ＧＰＵの並列計算が可能であること。

④　ジョブ管理ソフトウェアとして、オープンソース版Torqueを用いること。また、ジョブスケジューラとして、オープンソース版Mauiを用いること。

⑤　各種サービス用計算機として、フロントエンドサーバ及びユーザとの情報共有サーバを有すること。フロントエンドサーバは、計算用、開発用、実験用の３台以上から構成されること。フロントエンドサーバは、6000ジョブ程度が処理できること。また、フロントエンドサーバに対し、sshによるログインができること。ユーザとの情報共有サーバは、httpによる情報共有ができること。

⑥　大容量ファイルシステムは、主計算機部及び各種サービス用計算機から直接入出力可能な共有領域として、信頼性の高い高速磁気ディスク装置を100TB以上備えること。ファイルシステムは、無料のオープンソースファイルシステムを用いること。ディスク装置とファイルサーバ間はFibre Channel接続とし、ファイルサーバと主計算機部間、ファイルサーバとフロントエンドサーバ間は、Infiniband接続によりデータ共有が可能なこと。

⑦　全てのスイッチは、その種類に係わらずノンブロッキングであること。計算ノード間通信は、20GbpsのInfinibandを用いたfullbisection接続と同等以上の性能であること。ＩＰ接続は、１Gbps以上とし、ジョブ制御用ネットワークとサーバ管理用ネットワークを分離すること。

⑧　汎用ＧＰＵを利用した数学ライブラリを利用できること。

⑨　システム全体として、高度なセキュリティのネットワーク環境を提供できること。また、外部からの攻撃等に対する対策はもとより、内部ネットワークに対して、接続機器の管理、監視、接続制限機能等、効果的な対策を図ることが可能なシステムとすること。

⑩　所内設置場所の条件に合わせられる柔軟な構成が可能であること。導入後３年間ハードウェアとソフトウェアの保守を行うこと。営業時間内の障害発生に対して当日対応が可能なこと。

⑪　耐故障性を考慮し可用性を高めること。運用・管理を可能な限り自動化できること。管理用サーバを用意し、オープンソースソフトウェアによる全計算機の監視ができること。システムを構成する計算機等の異常を電子メールにより管理者に連絡できること。自動的に予定外停電対応できること。全計算機の消費電力、温度、ＣＰＵ・ＧＰＵ利用状況を可視化でき、統計情報を管理できること。